

令和4年度 人権擁護のためのセルフチェックリスト ～子どもを尊重する保育のために～（自己評価）

社会福祉法人専勝会
みつとも保育園

保育を考える上で大切な「子どもの人権」について先生方にアンケートをとり、実際の保育の中で自己評価を生かしていけるようにしました。アンケート結果を公表します。

人権と言っても、さまざまな考え方があるのですが「児童の権利宣言」や「子どもの権利条約」という社会的人権も重要です。しかし保育の中の子どもの人権とは、オムツ替えをする時どうしている？けんかの時の言葉かけは？給食の遅い子に対してはどうしている？昼寝の時は？等具体的なことです。実際の保育の中で、保育士が日々直面する生活の中の子どもの人権について考えてみました。

拒否的なことばを使わず、子どもの自主性を重んじ、人として大切にされることが子ども達の人権を尊重する基本だと思います。

しかし、何が正解という明確な答えがないのも事実です。しかし、この自己チェックが自分自身の行動や言葉かけを見直すいいきっかけになることは間違いありません。子どもの人権を尊重していく為には「こうだからこれはしていい。これはしちゃだめ」と考えるのではなく、常に考え続けることがとても大切です。

☆社会福祉法人専勝会は、子どもの人権に配慮した丁寧な保育を心がけていきます。

人権擁護のためのセルフチェックリスト集計

	子ども一人ひとりの人格を尊重しないかかわり	物事を強要するようなかかわり 脅迫的な言葉がけ	罰を与える 乱暴なかかわり	一人ひとりの子どもの育ちや家庭環境を考慮しないかかわり	差別的なかかわり	平均
	「していない」の割合	「していない」の割合	「していない」の割合	「していない」の割合	「していない」の割合	
平均	86.7%	71.7%	90.0%	90.6%	88.3%	85.5%

「している」が3人以上いた項目(全24名)

子ども一人ひとりの人格を尊重しないかかわり	しているの数
・排泄の失敗への対応をその場で行ったり、周囲に知らせたり、その失敗を責める言葉がけをする	3
・子どもが友だちをたたく等、良くないことをした際に、執拗に攻めるような言葉がけをする	3
・子どもが保育者に話しかけた際、「いま忙しいから後にして」と言う	10
・苦手なことを渋っている子に「早くやって。できないなら後ろに行って。」と言ったり、他者と比較したりなど、否定的な言葉がけをする	4
・自分から訴えてトイレに行くことができるようになった子どもに対して「おしっこ出ない」と訴えていてもトイレに行くように促す	7
物事を強要するようなかかわり・脅迫的な言葉がけ	
・集団行動をするための言葉がけをした際、言葉がけを聞かない子どもに「〇〇しないなら〇〇できないからね」と言葉をかける	11
・寝ずに話をしている子どもに対して、外で寝るように言ったり、布団を友だちの布団と離して敷いたりする	11
・どなったり「〇〇しなさい」との言葉や子どもが怖がるもの(鬼等)を使ったりして、子どもを保育者の思い通りに動かそうとする	12
罰を与える・乱暴なかかわり	
・子どもの人数チェックをする際、子どもの頭を手ではたくようにして人数を数える	5
・並ぶときなどに、子どもの自発的行動を待てず、腕を掴んで引っ張る	6
一人ひとりの子どもの育ちや家庭環境を考慮しないかかわり	
・「お休みの日にどこに行ったかお話して」との問いかけについて、クラスの子どもたち『全員』に発表してもらう	9
差別的なかかわり	
・いつまでも泣いている男の子に、「男の子だからいつまでも泣かない」や、乱暴な言葉遣いをする女の子に「女の子だからそんな言葉を使ったらいけない」と注意する	3
・少食の子に対して、子どもの意見を聞かず、初めから非常に量を少なくして配膳する	5
・寝かしつける際に、いつも同じ子どものそばにばかりつく	3

気づいたこと・感じたこと

- ・チェックすることにより、子ども達への関わりを見直し、意識しながら保育にあたるようになった
- ・イライラしたり落ち込んだりすることもあるが、ひと呼吸おいて子どもに対応していけるようになりたい
- ・「そういう考えもある」と多様な考えができるようになってきた
- ・できていないことが多いと感じた。今後の保育にいかしていきたい
- ・子どもの育ちや環境を十分理解していきたい

良い点

- ・ほとんどの先生が子どもの自発性を重んじ、丁寧な言葉がけをしたり促したりしている
- ・人権を尊重する関わりは心がけてきた
- ・すぐに対応できてなくて「ちょっと待ってね。」と言うこともあるが、後のフォローをしている

改善すべき点

- ・良い点の反面、怒鳴りはしないが、「鬼さん来るよ」とか恐怖心を与えたり、多少強要することがあるところを反省した。

落ち着きと余裕が必要と思う

- ・子ども達への質問でお休みのことやごはんの内容等、家庭のことを皆の前で発表させるのは良くないと分かった
- ・食事の偏食や少食に対して、大人の思い込みで対応しないよう、満足感の持てる食事にしたい
- ・「ちゃんとお約束が守れないと危ないからプールはできない」と伝えることがあったが、伝え方の工夫をしていこうと思った
- ・午睡時、おしゃべりの多い子ども同士の布団を離すことがあった。脅迫的ではなかったと思うが、寝ない子にはその子の状況や体調面に気を付けながら寄り添った言葉がけが大事だと思った
- ・体罰・言葉の暴力は絶対にいけない。精神的苦痛にならないようによく考えて保育する